

キッズリーダー養成講習会レポート

2015年4月12日(日) キッズリーダー講習会 in 常磐大学高等学校(水戸)

4月12日(日)に常磐大学高等学校でキッズリーダー講習会を開催いたしました。5月6日(土)に笠松運動公園補助陸上競技場で開催する「IFA U-6キッズサッカーフェスティバル」に常磐大学高等学校サッカー部のみなさんにご協力いただけることとなり、その事前研修としてこのキッズリーダー講習会を受講していただくこととなりました。



受講生は、同校サッカー部の部員42名と大人6名(顧問及びコーチ、そしてホーリーホックのスタッフ4名)の合計48名。まずは、午前9時から同校のグラウンドにて実技をおこない、その後教室に移動し講義を行ないました。

実技では、5月6日の「キッズフェスティバル」にて実施予定のメニューを3人組でおこない、順番にコーチ役と子ども役を体験していただきました。朝早かったこともあったのか、冒頭はテンションの低い選手が多かったのですが、時間が経つに連れて活気が出てきました。例えば、子ども役の選手が「子役」を演じ子どもらしい行動や言動をし、それに対してコーチ役がコーチらしく対応するなど、微笑ましい場面も多々見られました。



講義では、通常のキッズリーダーの講習会内容に加え、子どもたちがサッカーをはじめとするスポーツを好きになってくれるかどうかは、幼少期に出会うコーチの影響が大きいことをお伝えしました。そして、5月6日のイベントに参加する多くの子どもたちにとって彼ら（＝常磐大学高等学校サッカー部のみなさん）が「人生で最初に出会うサッカーコーチ」になることを伝達したところ、多くの参加者がその責任の重さをしっかりと感じてくれていたようでした。90分間の講義は、高校生の方らにとって長かったと思いますが、ほぼ全員が集中して受講してくれました。



【参加者コメント】

- 小さな子どもたちは、ほとんどサッカーを知らない子が多い。そこで自分たちと出会い、少しずつ知識を学び、一緒にプレーをして楽しく教えることで成長していくことがわかった。これから社会に出てもし機会があればまたやりたいと思いました。
- 子どもたちへの思いやりや、どう教えてあげたら分かりやすくなるのかなど、自ら体験をすることによって小さい子どもたちの目線に近づけた。
- いつもは指導していただいている側なので指導するのもいいと思った。楽しく指導したいと思った。
- 小さい子どもに対して、どのように教えればいいのかなど、スムーズに教えてもらい良かったです。5月6日のフェスティバルでは丁寧に小さい子どもたちと一緒に楽しみたいと思います。
- 将来的に指導者になりたいと思っているので、この機会で学んだことを将来の参考にできたらと思いました。
- サッカーを教えるだけじゃなく、人との接し方やマナーの大切さを教えることも必要だと分かりました。
- これからの日本サッカーを背負っていく小学生以下の人たちに自分がサッカーを教えられるのをとても光栄だと思った。
- 子どもたちに対する教え方や考え方がよくわかり、この先子どもたちと関わることがあったら、この考え方を思い出そうと思う。
- 小さい子どもたちが何を考えているのかということが分かりました。楽しい指導方法がよく理解できました。



キッズリーダー講師 茨城県サッカー協会キッズ委員会 押鐘正幸

常磐大学高校男子サッカー部員のみなさん、キッズリーダー講習を受講していただき、ありがとうございました。

今回の受講者のみなさんは5月6日に行われる「IFA U-6キッズサッカーフェスティバル」で参加者と一緒にプレーします。このフェスティバルは、参加の4歳、5歳、6歳の子どもたちと高校生たちとがスポーツで交流するという考え方で進行されますので、キッズリーダー講習で学んだ、子どものサッカー、子どもの発育発達、子どもたちとの接し方などを活かしてほしいです。

講習会では、参加する子どもたちにとっては“最初に出会うサッカーの指導者”の一人になることの意義もお伝えしました。当日は、子どもたちと向き合い、スポーツが楽しいものであることを高校生のみなさんたちともども実感できるよう所作していくことを期待しています。体調を整えて、子どもたちに笑顔で接し、元気に活動してください。

茨城県キッズ委員会では、高校生があらかじめキッズリーダー講習会を受講してから、キッズフェスティバルで参加者と交流する、という機会を促進していきたいと考えています。スポーツで異年齢交流することで、高校生たちこそ、ふだんの生活に必要な事柄を身につけるきっかけにできると思うからです。ご希望ある方は、キッズ委員会へお問い合わせください。